

特定非営利活動法人 きなはれ

2024年度事業報告

2025年6月

きなはれ 本部事業

1. 総会

2024年6月3日(土) 白石区民センターにて対面形式で実施しました。

2. 理事会・虐待、身体拘束防止委員会 開催

理事会:2024年6月28日・8月25日・2025年1月22日・6月3日 計4回

虐待、身体拘束防止委員会:2024年6月28日、2025年6月3日

3. 職員研修会 本部主催

1) 法人主催研修 新任者研修を新任者採用時に行いました。【本部オンライン計4回】

2) 法人主催 虐待防止研修 2024年11月1日 【かでる2・7】

3) 「虐待防止・身体拘束・差別解消法等研修」

講師:社会福祉法人鷹栖共生会 相談支援センターあいびい センター長 三瓶 章史

4. 職員に関して

<採用>

とねっと:正職員2名 (2025.2月)

サビ管:パート1名 (2025.1月)

<退職>

とねっと:正職員1名 (2024.5月)自己都合退職

5. 新規事業開設準備

2025(令和7)年10月開設予定 就労選択支援事業について準備委員会を設置し検討しました。

(2025年度継続実施)

北海道サービス管理責任者等研修 事業

集合研修、ハイブリッド形式、オンライン形式の 3 種類で実施しました。
総受講生は 2,330 名でした。

開催月	開催内容(人数)
2024(R6) 4 月	基礎(74)・実践(80)
2024(R6) 5 月	実践(73)・就労(51)
2024(R6) 6 月	実践(107)・更新(69)
2024(R6) 7 月	基礎(147)・実践(116)
2024(R6) 8 月	実践(113)・更新(73)
2024(R6) 9 月	基礎(164)・実践(131)
2024(R6) 10 月	基礎(95)・更新(111)
2024(R6) 11 月	基礎(75)・実践(115)・意思決定(57)
2024(R6) 12 月	基礎(82)・更新(74)
2025(R7) 1 月	基礎(116)・実践(118)
2025(R7) 2 月	実践(71)・更新(72)
2025(R7) 3 月	基礎(112)・更新(34)

相談支援従事者 サビ児管向け研修 計 6 回 受講生総計 929 名

2024(R6)年 5 月	215 名
2024(R6)年 7 月	109 名
2024(R6)年 9 月	162 名
2024(R6)年 11 月	111 名
2025(R7)1 月	196 名
2025(R7)3 月	136 名

ヨベル 就労継続支援 B 型事業

【重点目標に対する実践】

A. 利用者ひとりひとりの障がい特性、実情にあつたきめ細かな支援を行います。

→ヨベルを利用する方の目的や環境は一般就労希望者から高齢期に向けての生活安定まで様々です。その背景を理解し、その実情に合った支援を心がけ行いました。

B. 関係機関と連携した就労支援・生活支援を行います。

→利用する方が関係している相談事業所、病院、グループホーム などと連携して支援を行いました。

C. 「うれし部(仕事)」「楽し部(余暇活動)」「コミュニケーションプログラム」の活動を行います。

→作業、生活・余暇支援プログラム、コミュニケーションプログラムなどを行いました。

D. 地域住民との触れ合いの場として café ヨベル、町内会活動を含めた地域活動を行います。

→作業としてのカフェヨベル運営、町内活動、地域活性化のための祭り参加、JR白石駅宿根草花壇整理など、地域住民とともに活動を行いました。

E定期的に勉強会を開き、スタッフの支援力を向上させます。

→法人、事業所から指定した研修会、スタッフ個人で資質向上のために参加した研修会などに参加しました。事業所として改めて勉強会などの開催はできませんでしたが、日々の支援の振り返りを含め支援会議等でスタッフの支援力の向上に取り組みました。

E. 1 日平均通所利用者数を増やし、経営の安定化を図り、安全・安心な運営を行います。

→昨年度は退所される方が多かったため、平均通所利用者の増加にはなりませんでしたが、見学者や体験者の受け入れなど、次年度につながる活動を行いました。また、報酬改正もあって、1 日利用単価が上がったことにより、大幅な赤字は解消されました。

【運営体制と支援】

1. 事業体制・職員体制

主事業所:本通 4 丁目 ヨベル 従たる事業所:café ヨベル(ヨベル白石まちづくりハウス)の二か所で運営を行いました。職員体制は、所長・サービス管理責任者兼務 1 名、生活支援員 1 名、職業指導員 1 名、パート職員 3 名(1 名事務兼務、1 名サビ児管担当兼務)。

2. 利用者実績

項目	2023(R5)年度	2024 年度	備考
定員	20 名	20 名	増減なし
登録者数	21 名	19 名	2025 年 3 月末現在
開所日数	270 日	266 日	前年度減
延べ利用者数	3,160 名	2,996 名	前年度現
平均利用者数(名/日)	11.8 名	11.3 名	土曜を含む実績・他事業所併用 1 名
見学者数	6 名	17 名	前年度増
新規登録者数	5 名	6 名	見学のうち 35%が利用に結びつく
退所者数	4 名	9 名	退所理由:他事業所利用・入院、1 年のうちに新規・退所同時の方 2 名

様々な理由により対処する方が多い 1 年でした。見学者、利用者は前年度を上回りました。

3.うれし部活動(仕事面)

事業所の内外で仕事を行いました。地域の方々とつながり、利用者の可能性を広げることに努めました。

- ① 法人支援の作業(広報誌作成、HP 更新・サビ管研修会資料作成・サビ管研修会場清掃等)
- ② 事業所内作業として企業等からの請負作業、印刷
- ③ 事業所外作業としてJR白石駅前花壇の美化
- ④ ヨベル白石まちづくりハウスにて カフェ事業。
- ⑤ 自主製品制作(木工製品、手工芸製品、ダンピー(生ごみたい肥化セット)

4. 就労支援

- ① 将来的に一般就労を望む利用者に対し、就労プログラム(はたらくらす)を行い、働くことについて考えました。

5. 生活支援

- ① 病気や障がいにより生活に困難さを感じている利用者には、面接・訪問・同行などの支援を行いました。
- ② 必要に応じて家族面談や医療機関・相談支援事業所等とのケース会議を持ち、情報の共有、役割の確認を通して支援体制を充実しました。

6. プログラム

- ① コミュニティミーティング:毎週金曜日 午前中
- ② 集団精神療法を活用したグループ運営を取り入れました。若手の会・はたらくらす
- ③ たのし部活動:簡単料理教室、簡単お菓子教室、外出プログラム 等 一人一人のやりたい、楽しみたいを大切に少人数での余暇活動を開催しました。
- ④ 事業所の全体行事として、歓迎会、クリスマス会、などを利用者とともに企画し開催しました。
- ⑤ 利用者希望により体験してみたいことなど施設見学も含め実施しました。

7. 地域との関わり

白石区ふるさと祭・共栄第一町内会夏祭り、JR 白石駅 宿根草手入れ(4-11月)を実施しました。

8. 職員研修

JCネット ジョブコーチ養成研修、自立支援協議会白石地域部会等外部研修、法人内研修 など 随時 職員の資質向上に努めました。

9. 啓発

大学、専門学校より実習生、白石区内中学生(白石でつち奉公)、一般よりボランティアを受け入れました。

就業・生活応援プラザ とねっと 運営事業

〈事業計画〉

2024 年度の就業・生活応援プラザとねっとは、就業・生活支援と就業継続支援を中心に活動を展開し、障がいのある方の支援を展開します。また、拠点事業として札幌市内の就業・生活相談事業所(就業・生活支援センター一含)の取りまとめや札幌市自立支援協議会就労支援推進部会の運営委員・事務局として研修や情報の共有化等を行いました。

さらに、障がいのある方の交流スペース「わーくカフェ ジョイン」にて働く障がいのある方の交流促進の活動展開し、「札幌市就業体験事業」の活動も進めました。

〈重点事項〉

2024 年度 就業・生活応援プラザとねっとは以下の重点事項を基に活動をおこないました。

- ① 就業・生活相談事業では常に相談者の立場に立ち、また相談が円滑に進むように支援を行いました。
- ② ジョブサポーター事業においては、合理的配慮、障害者虐待防止を意識しつつ企業と、相談者それぞれの支援に立った支援を行いました。
- ③ 生活支援に関しては、制度を活用した支援のみではなく、直接的な支援も意識・行動していました。
- ④ わーくかふえジョイン活動を開催し、多くのメンバーが活用でき、充実した就業生活が営めるよう企画していました。
- ⑤ 札幌市自立支援協議会就労支援推進部会の事務局として会が円滑に進むよう努めました。

〈職員体制〉

2024 年度職員体制に関しましては、8 名(センター長1名・就労・生活支援員 3 名・プロモーター1 名・ジョブサポーター2 名、事務補助員 1 名)体制で行いました。

〈就労支援事業〉

2024 年度は①就業者個々人の課題に応じた就労支援、②就業継続のための支援、③他機関と連携した就労・相談支援を行っていきます。また、支援にあたっては、合理的配慮、差別禁止法・虐待防止法を意識し、企業・相談者両方の視点に立って支援を行いました。

〈就労支援ネットワーク構築〉

ネットワーク構築では、「札幌市自立支援協議会就労支援推進部会」の活動を中心に、会場開催、zoom を活用した研修、会議を行いました。

札幌市自立支援協議会就労支援推進部会定例会(5月 10 日 会場:かでる 2・7)

札幌市自立支援協議会就労支援推進部会、NPO 法人ジョブコーチネットワーク共催「JC-NET ジョブコーチ養成研修 in 札幌」:基礎講座(8 月 17 日、18 日 zoom)、実践講座(10 月 10 日-12 日:札幌市産業振興センター)

その他、札幌市自立支援協議会就労支援推進部会運営委員会、札幌市就業・生活相談事業連絡協議会の定期開催

〈生活支援事業〉

2024 年度も、昨年と同様、関係機関と連携しながら、各種年金申請への動向や生活保護課への同行等、登録者への直接的な生活支援を継続して行いました。

<相談支援状況>

新規登録者:31名、抹消:51名

就職者:37名 離職:3名

新規相談:193件 新規面談相談:127件 新規ジョブポーター相談:11件

求職に関する相談、支援:1310件、職場実習に関する相談、支援:49件、職場定着に関する相談、支援:957件、

生活に関する相談、支援:549件、その他相談、支援:131件、ジョブサポーターに関わる支援:233件

就労系サービス利用数:15件 内自法人:2件

<就業・体験事業>

2024年度の就業体験事業に関しては、前年度件数が上回るよう、福祉事業所に広報を周知し、また実習企業の数も増えるように、企業開拓等も含め行いました。なお2024年度就業体験事業の結果は以下になります。

登録企業数						
実績			年度目標	達成率	前年度実績	進捗率
4月～9月	10月～3月	年度累計				
28	0	28	26	107.7	24	116.7
新規登録企業数						
実績			年度目標	達成率	前年度実績	進捗率
4月～9月	10月～3月	年度累計				
7	0	7	5	140.0	3	233.3
就業体験希望届数						
実績			前年度実績	進捗率		
4月～9月	10月～3月	年度累計				
24	18	42	50	84.0		
就業体験実習者数						
実績			年度目標	達成率	前年度実績	進捗率
4月～9月	10月～3月	年度累計				
12	25	37	44	84.1	41	90.2
就業体験受入企業数						
実績			前年度実績	進捗率		
4月～9月	10月～3月	年度累計				
10	5	15	14	107.1		

<研究事業>

2024 年度に関しては、当法人が事務局となり、厚生労働省就労選択支援モデル事業を札幌、江別、函館、小樽、釧路、帯広の地域を対象に行い、厚生労働省に事業の報告を行うとともに、東京で開催された m である事業報告会に参加をし、報告を行ってきました。

<地域活動支援事業(わーくカフェ ジョイン運営)>

2024 年度も昨年と同様、働く障がい者同士の交流の促進、当事者による当事者への支援を促進するための場としてわーくカフェジョインの運営を行いました。ジョインで行われたイベントに関しては以下に記載します。

4月	歓送迎会、週末茶話会
5月	お花見、週末茶話会、けしごむハンコづくり
6月	青少年科学館、ノースサファリサッポロ
7月	さくらんぼ狩り、料理教室、納涼会、水木しげるの百鬼夜行
8月	ファイターズ野球観戦、「鳥獣戯画」展、ボーリング
9月	大倉山ジャンプ競技場見学、開拓の村、千歳鶴酒ミュージアムとスカイランチ
10月	旭山動物園、陶芸、芸術の森謎解きイベント
11月	円山動物園とスタンプラリー、ボーリング、白い恋人パークイルミネーション、カラオケ、忘年会
12月	クリスマス会、年末詣、
1月	餅つき、中央スタンプラリーとカフェ
2月	雪まつりと夜景、千歳鶴酒ミュージアムとスカイランチ
3月	調理教室(中止)、防災センターとカフェ巡り

ジョイン開所日数:215 日 利用人数合計:1090 人

白石障がい者就労センタースカイ運営

2024 年度スカイは、障害者総合支援法に基づき就労移行支援、就労継続 B 型事業、就労定着支援事業を継続して実施いたしました。

<2024 年度の所感>

人員体制が変わり、気持ち新たな一年となりましたが、経験や力量不足を実感する反省や課題の多い一年でもありました。現状を見つめ、原点に回帰し、真摯に 2025 年度の取り組みに繋げていきたいと考えます。

1. 職員体制(2024 年 3 月末)

職員 11 名（常勤正職員 6 名・契約職員 2 名・パート 3 名 うち 1 名本部兼任）

2. 利用者状況 3 月末現在の状況

項目	実人数		備考
	移行支援	B型支援	
登録者数	8名	10名	精神、発達、身体、知的 など
新規登録者	3名	3名	2023 年度新規登録者（見学 5 名・学校卒 1 名）
B⇒移行		2名	B から移行への転籍
移行⇒B		0名	移行から B への転籍
退職後再利用	1名	0名	職場を退職し、スカイでの通所再開
退所者	4名	2名	就職以外（他事業所・自宅）
見学者		25名	内体験者 8 名 新規登録者 4 名
就職者（一般）	5名	0名	
就職者（A型）	0名	0名	
就職者（B型）	0名	1名	他事業所へ

<訓練等給付非対象者の実習受入れ>

2名（休業中等の在籍のある方）

<就業者の定着状況> ※A型を除く

2012 年 4 月～2024 年度末 就職者数 80 名内 2025 年 3 月末現在同一企業での就職継続者数 29 名
直近:2024 年 4 月～2025 年 3 月末就職者数 4 名 内 2025 年 3 月末現在就業中 4 名 定着率 100%

<平均利用者人数> (1日当たりの平均実利用人数: 2024年度 目標 移行 10名 B 6名)
1日当たりの平均実利用者数実績: 移行 7.5名 (達成率 75%) B 3.9名 (達成率 65%)

<特別支援学校からの実習>

豊明高等支援学校・みなみの杜高等支援学校・小樽高等支援学校

3. 開所日・開所時間

*スカイ開所日 : 2024年4月1日～2025年3月31日 月～土 9:00～18:00
水曜 半日 ミーティング、プログラム、レクリエーション等

*コミュニティキッチンふいーる 営業時間: 2024年4月1日～2025年3月31日 月～土
11:30～16:00

4. 事業内容

<就労支援>

A. 事業所内での就労に向けた訓練

1. コミュニティキッチンふいーる: 廚房作業、フロア作業、配膳作業、清掃作業など。
2. 雑務・下請: わらく堂等からの箱折等軽作業、ふあみくるボード製作、制服アイロンかけ、つまみ細工つくり・店内装飾制作など。
3. 事務チーム: ふいーる売上管理、メンバー給与管理、各種アンケート集計受注、サービス管理責任者研修関連の事務、就業体験事業報告書作成など。
4. その他 地域活動

白石ネットでの宿根草作業（花壇の手入れ）に継続参加。白石区ふるさと祭り、やまびこ祭りへの出店参加。

B. 各種プログラム

1. 就労関連プログラム 隔月1回 水曜日 10:00～11:30
2. ふいーる向上に向けた会議 月1回 10:00～11:00
3. 軽やか体操 金曜日 13:30～15:00
4. コミュニティミーティング 毎月第4水曜日（集団精神療法を意識した実施）

C. 個別支援計画・アセスメント・モニタリング

1. スケジュールを立てて個別支援計画・アセスメント・モニタリングが行いました。
2. B型アセスメント、就労アセスメント（短期）を行いました。

D. 施設外支援・就労、企業実習

白石区役所食堂（食器洗浄）実習

ベースクリエート（パンの仕分け）実習 個別メンバーに対応した実習

就労後支援

個別面談・職場訪問、職場調整、電話相談、来所相談、関係機関とのケース会議等

F. 連携

必要に応じて、各関係機関と共に 会議・支援を行いました。

<生活支援>

個別に必要に応じて生活支援を行いました。

障害年金申請相談、生活保護課・保健福祉課同行、診察同行、家庭訪問、後片付け 等

<地域活動>

白石ふるさと祭り・やまびこ祭り 出店

<啓発>

大学講義：札幌医科大学（看護、作業療法）・ 北海道大学（看護）・ 北海道医療大学（看護）

実習生受入：札幌医科大学（看護・作業療法）

<職員研修>

サービス管理責任者研修

JC - net 主催の養成研修

自立支援協議会開催研修

法人内研修

<参考資料>

コミュニティキッチンふいーるの営業について

(2024 年度 来客者 1887 名 開店日 217 日 (貸切 11・出張販売 5) 平均来店者数 8.7 名 弁当 903 食 おせち 55 セット)

(2023 年度 来客者 2200 名 開店日 235 日 平均来店者数 9 名 弁当 727 食 おせち 60 セット)

(2022 年度 来客者 1850 名 開店日 230 日 平均来店者数 8 名 弁当 617 食 おせち 60 セット)

(2021 年度 来客者 1641 名 開店日 241 日 平均来店者数 7 名 弁当 620 食 おせち 70 セット)

5. 行事報告

月	スカイ レク等行事	ふいーる開店日数	ご来店者数
4月	2024年度 支援説明会	17日	163名様
5月	2024年度 ふいーる説明会	18日	152名様
6月		20日	204名様
7月	ふるさと祭り 出店	20日	170名様
8月	やまびこ祭り 出店	18日	110名様
9月		16日	167名様
10月		19日	143名様
11月		17日	149名様
12月	おせち作成	15日	154名様
1月		17日	148名様
182月		18日	172名様
3月	職員送別会	21日	155名様